

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	法政大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホウセイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ2
	学部・研究科等名	経営学部
	担当教職員名・役職	小林 健一・任期付教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	37
	受入企業等数	11
受入企業等名	プラットフォームサービス(株)、(株)らいふ、古河電池(株)、(株)インターテック、(株)バイテックホールディングス、(株)オークネット、弥生(株)、三井不動産リアルティ(株)、(株)レイ、(株)イー・ピーカンパニー、ウエルシア薬局(株)	
インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	小売業の現場体験や、営業担当と同行しての交渉体験等、実際の業務を体験するとともに、企業の、採用戦略、店舗戦略の企画立案等、企業が抱える課題に学生の立場からの提案を行なっている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	当該インターンシップは、「キャリア・プログラム科目」として開講されている。「キャリア・プログラム科目」とは、将来のキャリア選択、職業生活等に特に役立つと思われるもので、卒業所要単位の中にカウントされる正規の授業科目である。当該インターンシップは2年次より履修ができ、2単位付与される。なお、インターンシップは夏休み等を利用して行われる。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験に先立つ春学期授業において、企業が属する業界、企業の業務内容について、講義形式で学習するとともに、就業体験を希望する企業についてのレポートによって、派遣学生を選抜している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生は、就業体験を通じて得た学びについてのレポートを提出するとともに、受け入れ先企業の担当者、学部インターンシップ委員会委員(教員)に対して、インターンシップの内容と得た学びを報告する報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	担当教員は、インターンシップ期間中、派遣先企業を訪問、学生、および企業担当者との懇談を通じて、学習内容の確認と学生へのアドバイスをを行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ派遣前のレポートと、終了後のレポートを比較することにより、学生の学びと成長の確認を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業によって異なるが、5日間・9日間いずれかのプログラムを実施した。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	参加各企業の承諾を得て、各社のインターンシップの内容を共有し、インターンシップの効果の向上に努めている。また、大学が行う事前学習、事後学習には各企業担当者が参画している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.hosei.ac.jp/web/preview.php?no_id=1717117&nendo=2017&gakubu_id=%E7%B5%8C%E5%96%B6%E5%AD%A6%E9%83%A8&gakubueing=AF&radd=585
問い合わせ先	大学等名	法政大学
	担当部署名	学務部教学企画課
	担当者役職名	
	担当者氏名	湯山 颯太
	電話番号	03-3264-9076
	メールアドレス	gakumu@hosei.ac.jp